

すべては入間市の未来のために！

入間市議会議員

松本  
よしあき



9月議会では福祉の現場経験を生かして子ども子育て支援新制度について議論と提案をしました。

これからも入間市の未来を見据えて行政をチェックすること、皆様の声を聞き届けること、政策を提案することを続けてまいります。

入間市議会議員 松本よしあき

## 子育て支援の充実に向けた第一歩を

来年4月から子ども子育て支援新制度がスタートします。新制度では保育の質と量を実施主体である市町村が具体的にどのように展開していけるかが問われております。新制度でも充実させていくとされている「ファミリー・サポート・センター事業」について現状と今後の方針について9月議会で一般質問しました。

**質問：**「地域の中で子育てを助け合うファミリー・サポート・センター事業は開始から10年で会員数、活動回数ともに急増している。会員相互のコーディネート、事業全体の運営を担っているアドバイザーの現状は。」

**福祉部長：**「活動が多岐に渡っている。対応が困難な支援も行っている。」

**質問：**「現在抱えている課題の解決に向けてアドバイザーの増員、今後の事業充実に向けて計画策定と必要な予算措置を行なうべきではないか。」

**市長：**「今後も市民ニーズの増加が見込まれており事業を充実させていく。真に必要な子育て支援事業として適切な対応を図っていく。」

現在、子ども・子育てに関するニーズが多様化しており、ファミリー・サポート・センター事業への期待もますます高まっている。今後、障害児や病児、病後児など対象を広げていくこと、利用会員数、提供会員数増やしていくこと、講習時間の確保するなどにより事業を充実させていく必要がある。

今の入間市の障がい児支援は現場の声に答えきれておりません。今こそ入間の障がい児支援は変わらなければなりません。